

平成30年度事業計画

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

1 会務関係

- 1-1 第10回定時総会 1回
平成29年度溶接技術コンクールの表彰式及び懇親会を併せて実施する
- 1-2 理事会 2～3回
- 1-3 担当理事会 必要の都度
- 1-4 その他委員会 必要の都度

2 事業関係

- 2-1 講演会：
定時総会関連行事として記念講演会を実施する。
- 2-2 初心者向溶接技術研修会
ポリテクセンター兵庫のご協力を得て、初心者を対象にアーク溶接、炭酸ガス半自動溶接、ステンレス鋼のティグ溶接、銀ろう付の各種目について、学科と実技の研修会を実施する。

研修会日程

研修科目	定員/回	研修期間	開催予定月	開催場所
アーク溶接	20名	2日	5月、10月	ポリテクセンター 兵庫
半自動溶接	10名		6月、11月	
ティグ溶接	10名		9月、1月	
銀ろう付	30名	1日	3月	

- 2-3 溶接入門講座
主として溶接を本務としない職種の技術者および管理者を対象とし、溶接に関する初歩的かつ概括的知識を習得させることを目的として実施する。
開催予定月 : 6月、12月
- 2-4 アーク溶接特別教育 年6回実施
労働安全衛生法に定める特別教育の一環として、溶接作業に起因する災害防止のためのアーク溶接特別教育を、大阪労働局の指導に基づき、定期的を開催する。
開催予定月 : 4月、6月、8月、10月、12月、2月

2-5 ガス溶接技能講習会 年6回実施

大阪労働局の登録教習機関として、ポリテクセンター関西のご協力を得て定期的を開催する。

開催予定月 : 5月、7月、9月、11月、1月、3月

2-6 溶接技能者評価試験業務

ポリテクセンター兵庫、ポリテクセンター関西、東大阪高等職業技術専門校、大阪産業大学のご協力を得て、毎月4回の予定で実施する。また、随時団体受験業務も実施する。

開催場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月
大阪産業大学	8(日)	6(日)	24(日)	15(日)	18(土)	15(土)
東大阪高等職業専門校	—	—	3(日)	—	5(日)	—
ポリテクセンター兵庫	1(日) 15(日) 22(日)	13(日) 20(日)	10(日) 17(日)	1(日) 8(日)	4(土) 19(日)	9(日) 16(日) 22(土)
ポリテクセンター関西	—	12(土)	—	14(土)	—	23(日)

開催場所	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大阪産業大学	6(土)	3(土)	16(日)	6(日)	23(土)	16(土)
東大阪高等職業専門校	—	—	2(日)	—	10(日)	—
ポリテクセンター兵庫	7(日) 14(日)	4(日) 11(日)	1(土) 9(日)	13(日) 19(土)	3(日) 17(日)	3(日) 17(日)
ポリテクセンター関西	27(土)	17(土)	—	20(日)	—	10(日)

2-7 平成30年度(第62回)大阪府溶接技術コンクール

大阪労働局、大阪運輸局、大阪府、大阪市、(一社)日本溶接協会に後援をお願いし、ポリテクセンター関西のご協力を得て実施する。

開催予定日 : 平成31年2月2日(土)

開催場所 : ポリテクセンター関西

2-8 大阪府溶接技術コンクール練習会

大阪府溶接技術コンクールのレベルアップを目指し、X線画像により指導員からの技術指導を実施する。

開催予定日 : 未定

開催場所 : ポリテクセンター兵庫

2-9 大阪府高校生溶接技術研修会

大阪府下工業系高等学校を対象にして、溶接実技指導等を行う。

開催予定日 : 平成30年12月15日(土) 被覆アーク溶接

開催場所 : ポリテクセンター関西

2-10 第9回高校生溶接技術コンクールの開催

開催予定日 : 平成30年12月26日(水)

開催場所 : ポリテクセンター関西

2-11 高校への溶接出張指導研修会

要請に応じて実施する。

2-12 企業向溶接指導

要請に応じて中小企業向に出張で溶接指導を行う

3. その他

3-1 平成30年度全国溶接技術競技会に大阪府代表選手を派遣

開催予定日 : 平成30年10月21日(日)

開催場所 : ポリテクセンター山口(予定)

派遣選手 : 平成29年度大阪府溶接技術コンクールの被覆アーク溶接部
炭酸ガス半自動溶接の部の各上位入賞者2名

3-2 平成30年度関西地区溶接技術競技会

主催 : 関西地区溶接協会連絡会

目的 : 全国溶接技術競技会への参加に先立ち、関西地区内の選手の技術
向上を目的とする。

開催予定日 : 平成30年9月2日(日)

開催場所 : 加古川ものづくり大学校

派遣選手 : 平成29年度大阪府溶接技術コンクールの被覆アーク溶接の部
炭酸ガス半自動溶接の部の各上位入賞者2名